

人権を考える

問い合わせ 生涯学習課 (☎26888)



～病気と人権～

皆さんは病気の人が人権侵害を受けるのはどんなときだと思いますか。今回の新型コロナウイルス感染症の例を見ても分かるように、周囲に感染の恐れがあったり、どんな病気が分からなかったりするときに、人々の不安が増し、人権侵害が起こることが考えられます。この典型的な事例を取り上げてみます。

ハンセン病について

ハンセン病は、「らい病」と呼ばれ「日本書紀」にも記述があるほど昔から知られるもので「血筋による病気」といわれていました。顔や手足が変形する後遺症のために差別されてきました。明治時代に「らい菌」による感染症であることがノルウェーのハンセン氏により発見されました。本来は感染力が弱い病気ですが、患者を放置しておくのは文明国にふさわしくないとして、隔離する政策が進められました。各地の療養所への強制収容や自宅の徹底的な消毒などの光景から恐ろしい病気

というイメージが差別と偏見を助長していきました。

その後、昭和18年に治療薬が開発され、治療が可能になりましたが、平成8年に「らい予防法」が廃止されるまで隔離政策が続けられました。平成13年5月に「らい予防法」について国の責任を認める判決があり、昨年7月には患者家族の差別被害に対しても国の責任が認められました。

しかし裁判が終わってもこの問題は解決していません。患者は根強い差別や偏見のために故郷や家族との関係を回復できなかったり、高齢になったりして、今でも孤独な生活を余儀なくされています。10年間で、延べ129人もの人療養所に再入所しています。

HIV感染とエイズについて

エイズは1980年代に初めて患者が発生し、HIVウイルスによる感染症であることが発見されました。現在では世界中に3700万人余りのHIV感染者がいて、毎年170万人ものエイズの新規

患者が出ています。

エイズの発生当時は「不治の病」として多くの偏見を生みました。現在では、早期に治療できれば発症を抑えられるようになりました。HIVウイルスは感染力が弱く、感染経路は性行為・血液・母子感染に限られ、日常生活では感染することはありません。こうした正しい知識の下に対応できれば、感染者とも安心して一緒に活動することができます。

人権問題として

正しい知識と理解があれば、無用な差別や偏見をなくすことができます。新型コロナウイルス感染症に対しても、こうしたこれまでの事例の反省を生かし、人権侵害を起こさないようにしていかなければなりません。人権を尊重する意識のもと、ハンセン病やエイズはもちろん、他の病気についても関心を持ち、正しい知識に基づいた正しい判断で行動できるように心掛けましょう。



たばこの害について

健康づくり課 ☎2808

世界禁煙デー

5月31日は世界禁煙デーです。世界保健機関(WHO)が平成元年から始めている取り組みで、喫煙と健康問題についての理解を深め、実践することが目的となっていています。この機会に、たばこが与える健康への影響について考えてみましょう。

喫煙による病気のリスク

喫煙者は、さまざまながんのリスクを抱えています。肺がんはよく知られていますが、煙に直接触れる鼻や喉、舌のがんになる人の多くは喫煙者であるといわれています。食道がん・肝臓がん・胃がん・ぼうこうがん・子宮頸がんなどもリスクが高くなります。

また、喫煙することによって血管が収縮し、血液の流れが悪くなります。そのため血圧が上昇し、動脈硬化が進みます。動脈硬化は、血液が脳や心臓で詰まったり、血管が破れたりする心筋梗塞・脳梗塞・脳出血を引き起こします。血液の流れが悪くなると美容にも影響があります。「肌の張りやなくなると」「深いしわが増える」「白髪や脱毛が増える」など、実際の年齢に比べて老けて見えるといわれています。

喫煙を続けていると、慢性的に咳や痰が続き呼吸器が苦しくなるCOPD(慢性閉塞性肺疾患)も引き起こします。COPD患者の約9割の人に喫煙歴があります。COPDになると肺の機能は徐々に低下していくので、すぐに禁煙する必要があります。

禁煙するとうつになるか

禁煙すると、呼吸器の症状が改善し、心臓の病気ががんにかかるとのリスクが低くなります。味覚や嗅覚が敏感になるので食べ物がおいしく感じられ、食事がおいしく感じられ、食生活が整うので体調が良くなります。禁煙に成功すると、精神的にも自信を持って何事にも前向きに取り組めるようになります。

また、禁煙はお金の節約にもつながります。1日に1箱のたばこを吸っている人が禁煙すると、年間で490円×365日＝約18万円の節約になります。喫煙はニコチン依存症という「病気」で、禁煙外来で禁煙治療を受けることもできます。この機会に、喫煙生活を見直してみよう。

5月の休日当番医

診療時間は午前9時～午後6時 歯科医院は午前9時～正午
※当番医は変更になる場合があります。連絡の上受診してください
※4月26日(日)の当番医に変更があったため再度掲載します

日	医療機関	産婦人科	歯科
4月26日(日)	光病院 本郷・☎241234	すぎやまメディカルクリニック 下大塚・☎201666	光病院 本郷・☎241234
3日(祝)	くすの木病院 旭町・☎243111	深沢内科医院 上戸塚・☎226555	くすの木病院 旭町・☎243111
4日(祝)	アイリス診療所 森・☎22542	おおすか子どもクリニック 芦田町・☎258676	飯田整形外科医院 篠塚・☎225770
5日(祝)	篠塚病院 篠塚・☎239261	星野医院 仲町・☎220116	栗原胃腸科外科医院 神田・☎402299
6日(休)	光病院 本郷・☎241234	田原内科クリニック 相生町・☎232552	光病院 本郷・☎241234
10日(日)	鬼石病院 鬼石・☎523121	しのめクリニック 中栗須・☎228851	河内歯科医院 宮本町・☎240100
17日(日)	くすの木病院 旭町・☎243111	原内科クリニック 下戸塚・☎402255	江原歯科クリニック 高崎市吉井町・☎027-387-1837
24日(日)	飯塚クリニック 下戸塚・☎407700	木村内科医院 仲町・☎220333	遠藤歯科医院 2丁目・☎240013
31日(日)	篠塚病院 篠塚・☎239261	しろやしき内科 芦田町・☎508320	深井歯科医院 高崎市新町・☎400408
		薬師寺整形外科クリニック 下栗須・☎201555	リオ歯科クリニック 立石・☎246230
		山崎外科医院 芦田町・☎21331	

◎救急テレホンサービス (☎26699) 緊急に対応できる医療機関を24時間案内します